

CLIPPER

快速艇

No.125 2020 令和2年3月2日

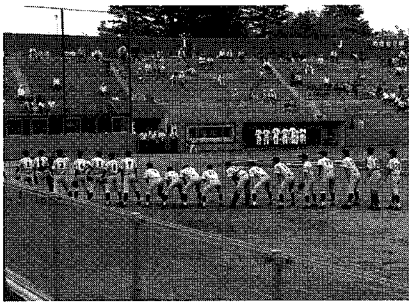
PTA活動を振り返って

PTA会長 近谷 亨



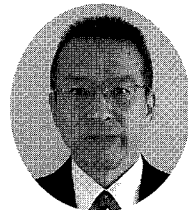
伏木高校のPTA活動に携わって早いもので今年で五年が経ちました。最後の年に会長という任務に就かせて頂き、今年一年いろいろな経験をさせて頂きました。富山県及び北信越のPTA大会では各高校の特色や

PTA活動への取り組み方又は生徒と親とのコミュニケーションを図るにはどうすれば良いか等、様々な発表を聞く事ができこの高校もPTAに対し試行錯誤をされているのだなとつくづく実感しました。また、中国、韓国、ロシアの生徒が来日した「国際交流の歓迎会」や「文化祭」の行事の中で他国の生徒達と触れ合う場では当校の生徒達が積極的に会話に取り組んでいる姿が見られたのが印象的でした。こういう場面に出来るのも、他の高校では無い伏木高校国際交流科の唯一の特色だと思います。最後にありますが、今年一年の間でPTA活動に参加できなかつた面も多々あります。その度に先生方や他のPTA役員の方々に尽力頂き大変感謝いたします。それと共にPTAにご協力とご理解を頂きました会員の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



「令和」の生き方

副校長 西川 著春



昨年、皇位の継承に伴い、悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、「平成」から「令和」に年号が改元されました。改元の年、私にとつて、印象に残ったことは、イチロー選手の引退会見と令和のラグビーワールドカップでの活躍です。

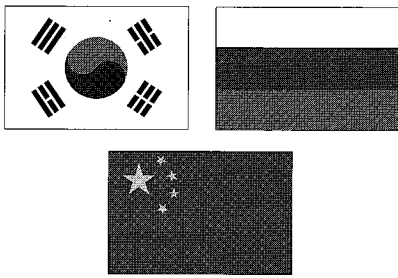
引退会見でイチロー選手に「生き方」を問われ「はかり」は自分の中であって、「自分なりに」はかり「を使う」を限界を見ながら、ちょっと超えていく」ということを繰り返して行く。だから少しずつの積み重ねでしか自分を超えていけないと思う。さらに、「一気に高みに行こうとすると、今の自分の状態とギャップがありすぎて続けられない」ので、地道に進むしかない。進むだけではなく、後退もしながら、自分が「やる」と決めたことを信じてやっていく。「そうやって遠回りすることでしか、本当の自分に出会えない」という気がしています」と穏やかながら熱っぽく語りました。

ワールドカップを終えて、「ONE TEAM」のスローガンのもと、チームは努力を続け、大きな成果を得ることができた。W杯を誇らしく戦うことができた」と振り返ったジョセフ・ヘッドコーチ。「ワンチーム（違うバックグラウンドを持つみんなが違いを持ちながら、同じ方向を向く）は大きなすごい意味のある言葉」とトンプソン選手。「仲間への思いやりの心がチームを強くする。プレッシャーをはねのけるには準備が大事だ」と稲垣選手は母校での講演会で、激励の言葉を贈った。キャプテン、リーチ・マイケル選手は「勝ちたいというメンタリティと、勝てるという自信（希望と自信を裏打ちする努力が不可欠）が一番の勝因だ」と語った。

この二つのことは、情報技術の進歩による社会の変化の中、個として集団として、そして人間としての生き方のアドバイスであるように感じました。

Our New Stage

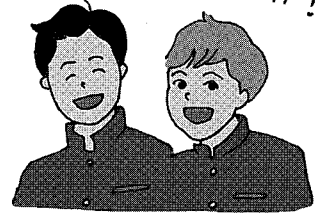
私たちの
新たな
段階へ



友好校 受け入れ

中国・韓国・ロシア

o mo te na shi !!



【韓国】

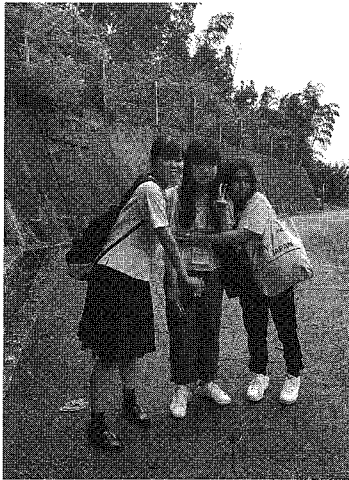
二学年保護者 高橋 歩

我が家では、二年連続韓国の生徒を受け入れました。

初めての時は、家族全員が緊張していましたが、二回目となると、昨年の反省点を踏まえ、娘が事前に受入生徒にリサーチしてくれたおかげで、多方面においてスムーズに事を進めることができました。

約一週間、一緒に生活して驚いたことは色々ありましたが、中でも、喜ぶかなと思っ作った韓国風料理よりも普段作っている日本料理の方が圧倒的に喜んでくれたこと、ベターな観光よりも子供達だけで日本の高校生の様な遊び方をするほうが楽しめていたこと、そして、生活習慣の違いからか時間が無くても慌てることなく、マイペースで日本人のようにせかせかせかないことです。

色々な場面で異文化を感じることができ、我が家にとっても良い刺激を受けました。外国人を受け入れることは安易ではありませんが、苦労した充実感を得ることができ、貴重な体験をさせてもらいました。



【中国】

二学年保護者 水田 康之



我が家には中国から二人の女子生徒がホームステイに来るようになりました。

三泊四日と短い期間ではありませんが、中国語はもちろん英語も分からない私達がちゃんと受入ができるか当初はかなり不安ではありました。

初対面では控えめで内気な性格だったので、コミュニケーションを取るのが難しいと感じました。しかし、ガラス工房などに連れて行き、日本文化を体験することで、徐々に関係もよくなることができました。最終日の夜、台湾出身の近所の方に遊びに来てもらいました。大人しかった子達がとても活発になり言葉が通じない事で内気に見えただけと分かりました。言葉で伝える事はやはり大事なことだと痛感しました。

【ロシア】

二学年保護者 専徒 恵子

冬に娘が大連にホームステイに行き、二人と再会してとても良くしてもらったそうです。娘には伏木高校で中国語を学び、また機会があれば会える関係を築いてくれると親としてはうれしい限りです。

昨秋、ドミトリ君という14歳の生徒を受け入れました。

外国人だからと気負い過ぎず、お互いに楽しく過ごせるように努めました。平日は私達の日常生活と一緒に体験してもらい、週末は平湯のクマ牧場や飛騨大鍾乳洞に連れて行ったり、食品サンプル作り体験をしたりしました。

ある日の夕食後、息子とドミトリ君が兄弟のようにソファに肩を並べて座り、一緒にゲームを楽しんでいる姿を見かけて、おそろしくうたわいもない経験が、実は彼らの成長においてとても大切な事なんだろうなあと感じました。我が家なりの国際交流ができた貴重な経験になりました。



海外語学研修

中国

中国語学研修を終えて

21H 石村 優奈

私たちは、四泊五日で中国大連市に語学研修に行きました。初めて海外へ行き、ホームステイをするのにあたってとても不安な気持ちでいっぱいでしたが、ホストファミリーが優しく迎え入れてくれたおかげで楽しく充実した日を過ごすことができました。

私がこの研修で特に痛感させられたのは、やはり言葉の壁が高いということでした。言葉が通じなかったり、理解してもらえなかったりしたことが多くあり、とても大変でした。しかし、言葉は通じなくても、コミュニケーションを取ることが大事なんだと改めて思いました。ホストファミリーと過ごした時間は、一生忘れることが

○中国語学研修日程○

引率者：西川 著春/村中 秀一
中盛 真里菜

- 12月14日(土) 出発式
富山空港→大連空港
対面式・ホームステイ
- 15日(日) ホストファミリーとの休日
- 16日(月) 授業・歓迎式・交流会
- 17日(火) 授業・大連市内観光
- 18日(水) 大連空港→富山空港
帰校式



できないものとなりました。日本ではできない経験をたくさんすることができ、とても有意義な語学研修になりました。

韓国

韓国語学研修で学んだこと

21H 荒清 執人

四泊五日の韓国語学研修で多くのことを学び、貴重な体験をすることができました。韓国では、主に二つのことを学びました。

一つ目は、家が一軒家ではなくマンションが主流だということです。日本は主に一軒家が多いですが、韓国はマンションに住むの方が多くということが分かりました。ホームステイ先の友達もマンションに住んでいるようです。

二つ目は、語学です。最初は携帯の翻訳アプリを使って見せ合っていました。韓国語を教わるため、

○韓国語学研修日程○

引率者：増岡 友策/村中 秀一
長谷川 瑞穂

- 12月18日(水) 出発式 小松空港→仁川空港
対面式・歓迎式・ホームステイ
- 19日(木) 授業・交流会
- 20日(金) 授業
- 21日(土) 歓迎式・ソウル市内観光
- 22日(日) 仁川空港→小松空港 帰校式

翻訳アプリで打った韓国語を見せ、発音と意味を教わりました。翻訳アプリを使いながらの会話でしたが、しっかりとコミュニケーションをとることができ、韓国語について多くのことを学びました。

今回の韓国語学研修では、普段体験できないことができ、とても有意義な時間を過ごせて良かったです。この研修で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです。



さわやか運動

生徒指導委員長 指崎 一匡

今年度も伏木地区の「さわやか運動」が行われました。

生徒会やPTA、教職員が協力し、玄関や各通学路で登校する生徒に、挨拶・声かけ・交通安全指導の取り組みを実施しました。

また生徒は、太田・伏木・古府の各小学校と、伏木中学校にも赴き、それぞれの挨拶運動に参加し、一緒に挨拶を交わしました。

挨拶は、地域の方々のコミュニケーションの活性化や、友達や先輩・後輩との横のつながりを強くし、雰囲気も明るくする大切な事です。

今後「さわやか運動」の活動をPTA・教職員が協力して行って参りますので、皆様のご協力をお願い致します。



友好校歓迎バーベキュー

国際交流委員長 米田 美希

今年も中国・韓国生徒歓迎バーベキューを開催。中国と韓国より約80名の生徒や付添いの方々を歓迎しました。皆さんに楽しい思い出を作ってもらいたく、焼きそばや焼き鳥やおにぎりなどでおもてなしをし、ビンゴゲームなどで楽しみました。日本、中国、韓国と三カ国の交流は、初めて国際交流委員になった私にとってもとても良い経験になりました。御協力してくださったPTAの方々、教職員の方々、そしてホームステイを受け入れてくださった皆様方本当にありがとうございます。この先もこの国際交流を大切にしていきます。



職業人講話

一学年主任 堀田あけみ

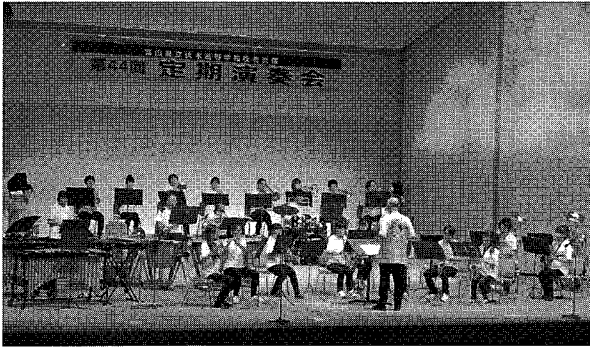
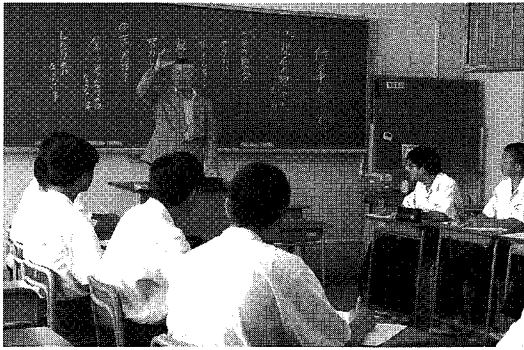
7月27日(土)の職業人講話では、道の駅雨晴駅長 稲垣美香氏の講演、元吉本芸人のコミュニケーション・人材育成会社 内藤紗弥花氏の講演、保護者・OB等が講師の13の分科会①、県内外の12校からなる大学・短大・専門学校に分科会②が行われ、一、二年生を中心に多くの生徒が参加しました。保護者の方々には保育士・看護師・建設業の分科会の講師として、その職業を選んだ理由や貴重な体験談をお話しいただきました。生徒は真剣な目で話を聞いており、心を動かされた感想を書いています。

今後この経験を、自らの進路について具体的に考えるきっかけとしてくれるのではないかと思います。

吹奏楽部定期演奏会

吹奏楽部部長 松井 美咲

定期演奏会を通して、私たちは仲間と一つのことを作り上げる大切さを学びました。定期演奏会までに方向性の違いで意見がぶつかるなど、辛くて悩んだことがたくさんありました。そんな時、優しく最後まで意見を聞いて支えてくれたのは仲間達でした。仲間のおかげで沈んでいた気持ちも晴れ、元気になったことに対して感謝しても感謝しきれない位、ありがたい気持ちでいっぱいです。一指導・ご支援をしてくださる先生方、保護者の方々、地域の皆様、そして一生懸命な姿を見せてくれる仲間を支えて頂き、一人一人笑顔になった心に残る演奏をすることができました。



ました。定期演奏会という舞台上、感謝の気持ちと共に会場の皆様の心が一つになるよう演奏することができて本当に幸せでした。ありがとうございました。

伏木十間道路クリーン大作戦

保健厚生副委員長 竹本 めぐみ

9月29日に「伏木十間道路クリーン大作戦」が開催されました。PTA活動の一環として、地域・生徒・保護者の交流を深める良い機会にしたいとの思いで毎年参加しております。

今年度も台風の影響で行われるか心配もしておりましたが、途中から天候も良くなり、青く澄んだ空が気持ちまで晴れやかにしてくれるほどになりました。

通学路として利用している十間道路のゴミ拾いや草むしり等の清掃作業をしました。生徒及び保護者や先生とで参加し、地域住民や地元企業の方々に伏木高校の地域環境美化への活動に対する良いアピールになったのではないかと思います。



います。

最後に、お忙しい中、清掃作業に参加いただきありがとうございました。今後もPTA活動の一環として参加していきたいと思っておりますので、皆様のご協力宜しくお願いいたします。

文化祭

生徒会長 松井 翔太

今年の文化祭は、一日しかなく、少ない時間でしたが、例年以上に大いに盛り上がったものとなりました。私たち生徒会では、文化祭をさらに盛り上げるために生徒会主催ステージを行いました。

それは、自由参加型ステージ発表です。このステージ発表は生徒の皆さんが自由に参加することが



きる発表です。当日には、3つのグループがステージ発表をして、会場を湧かせてくれました。また各クラスでの模擬店や展示も盛り上がりしました。皆さんが楽しんでる姿を見ることができたので良かったです。

学習合宿概要

令和元年8月1日～3日実施
於：二上まなび交流館

●参加者：78名

(1年9名、2年11名、3年58名)

●学習内容：全教科

●学習量：一時限90分授業とし、

一日目4限(午前1、午後3)

二日目6限(午前2、午後4)

三日目2限(午前2)

合計12限(18時間)実施。

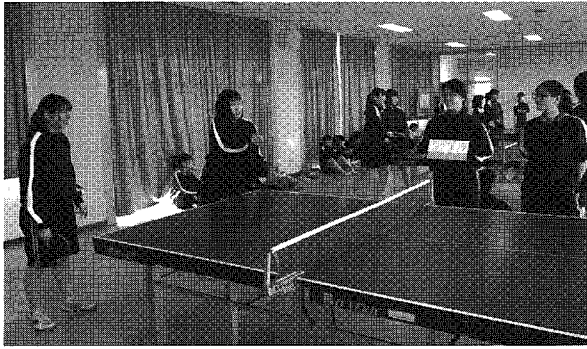
球技大会

体育委員長 河端 飛思

今回の球技大会では、全校生徒にアンケートを取り、生徒自らが選択した競技で楽しめるようにしました。

当日は、大会がスムーズに行われるように生徒会執行部と一緒に声掛けなどをして時間内に全ての競技を終えることができました。また、今回は球技大会実施後のアンケートでも「楽しかった」と多くの生徒が感じており、満足できるものになったと思います。

初めて行うことが多く、最初はうまくできるか不安でしたが、周りの方がサポートをしてくださったおかげで、無事球技大会を終えることができました。

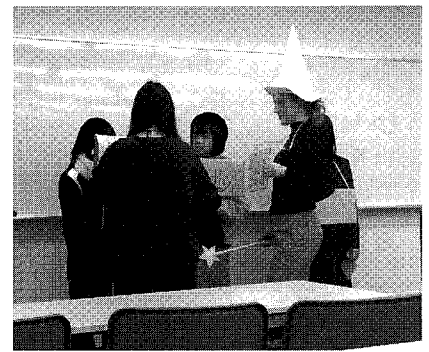


イングリッシュキャンプ

令和元年12月20日～21日 実施
於：二上まなび交流館

●参加者：52名

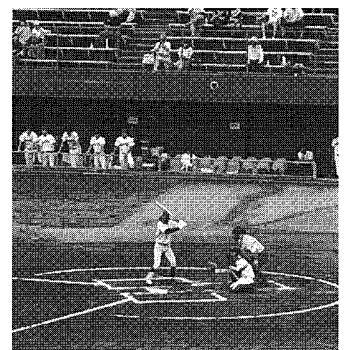
(1年32名、2年6名、3年14名)
●学習内容：A・L・Tとの交流を通じた英語運用能力の向上、プレゼンテーション等



卒業に寄せて

●七十二期生、ファイター！
三学年在 細口 真弓

伏木高校入学間もない頃、皆さんには二つの目標を提起した。一つ目は「当たり前」のことが当たり前に行えるようになること。この三年間で社会に出るために必



要な知識・ルールを身に付けてきたはずだ。二つ目は「心をつかち合える友人をつくること」高校時代の友人は、生涯付き合う友人とも言われる。青春時代に同じ悩みや苦労を味わい、支え合った友は一生の宝物になるに違いない。

これらの高校での学びに加え、皆さんには今、海外語学研修で異文化を体感し、「コミュニケーション能力を磨き、世界を目の当たりにしてきた強い自信が備わっている。グローバルな視野で、各々の道へと力強く羽ばたいて欲しい。七十二期生の更なる健闘を祈る！



足跡

三学年代表 下條 彩花

喜びと緊張の中で行われた入学式から三年が経ちました。伏木高校では、沢山の出会い、貴重な経験を積むことができました。生徒会執行部の活動や海外語学研修などの様々な体験は、新鮮で私にとって大切な学びとなりました。新たな気づきや発見を肌で感じ、体験できたことで、さらに成長できました。

楽しいことも辛いこともありましたが、この三年間は、私にとってかけがえのないものになりました。このような素晴らしい経験を重ねることができたのは、多くの方々の支えがあつてこそです。この感謝の思いを大切に、いつか恩返ししていきたいです。これからは、何事にも挑戦し、夢実現のために絶えず努力していきたいです。



PTA活動報告

総務委員会

畑山 弘美

「活動を振り返って」

総務委員では、年一回広報誌「クリッパー」を発行しました。伏木高校の特色である国際交流科に関する記事を始め、学校行事や、子供達の学校生活を保護者の皆様方により解りやすく伝える為に、先生や委員達で紙面の構図や写真の選択等を話し合い制作しました。

総務委員長としては力不足で迷惑ばかりでしたが、先生方や委員さん達に支えられ無事終えることが出来ました。原稿依頼に快く引き受けて下さいました皆様ありがとうございました。御協力に感謝すると共に今後とも宜しくお願い致します。

進路指導委員会

寺林 洋

「活動を振り返って」

進路指導委員会の活動は、年一回の職業人講話への講師の募集や当日のお世話です。準備にご苦労された先生方、お忙しいところ講師として来てくださった方々、そして参加の保護者の方、お手伝いの委員の方々には大変感謝いたします。進路選択に必要な情報や講師の生の声を保護者にも共に聞くことが出来る場は大変貴重です。

ご支援下さる先生方、指導して下さいる役員の方々が、あと一年よろしくお願致します。

生活指導委員会

野島 真

「活動を振り返って」

生活指導委員会では、伏木曳山祭の巡回指導とさわやか運動を実施しました。伏木曳山祭は生徒たちが

事故や怪我もなく地元の祭りに触れ楽しむことができました。さわやか運動で感じたのは、全国的に自然災害の多い年でしたので今後、生徒達の通学においてもそういった面への配慮が求められることとです。挨拶については毎日のことですがだからこそ、社会生活の基本として疎かにすることのないよう指導できたのではないかと思います。

今年度、みなさまのご協力に深く感謝するとともに今後とも皆様のご協力の程何卒よろしくお願致します。

保健厚生委員会

飛田真紀子

「活動を振り返って」

保健厚生委員会では、毎年「伏木十間道路クリーン作戦」に参加しています。年々保護者の方の参加が少

なくなっています。今年は大変感謝しております。地域の活動に参加する機会はその間に多くはないと思えます。今後のご協力もよろしくお願致します。

来年度には学校保健委員会を予定しており、学校医の方々のご指導や、保健委員の生徒の発表が楽しみです。

生徒たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、サポートしていきたいと思います。

国際交流委員会

二口 大輔

「活動を振り返って」

国際交流活動が特色である伏木高校では、毎年友好国とお互いの生徒同士をホームステイにて受け入れ合いをしております。また、PTAが中心となり、先生

大会記録

- 第14回射水市ソフトテニス大会
一般男子 2位 2年 松井 翔太
射水市市民体育大会
ソフトテニス競技1部 団体男子の部
1位 2年 北本 敦也 松井 翔太
富山県高等学校ソフトテニスインストア高岡地区予選
男子個人 2位 2年 北本 敦也 松井 翔太
インターアクトクラブガバナー表彰
3年 明野 琉依
第21回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト
プレゼンテーション部門 奨励賞 1年 吉田 慈永
2年 松田 美恵
第44回富山県青少年美術展
入選 2年 海下絵玲奈
第18回岐阜女子大学全国書道展
大学賞 1年 高木美優菜
特賞 3年 坂井 桃羽 東海 咲樹
2年 中村 愛
1年 喜多 彩音
第30回富山県高等学校日本音楽演奏会
日本音楽部門 優秀賞 箏 部
令和元年度地域安全運動啓発
標語の部 3年 村西 彩純

進路状況

(延べ人数) R2.2.18 現在

- 〈国立大学/9名〉 富山(2)、富山県立(4)、金沢(1)、都留文科(2)
〈私立大学/21名〉 富山国際(3)、高岡法科(2)、北陸(1)、金沢学院(2)、金沢星稜(2)、金沢工業(3)、北陸学院(1)、福井工業(1)、文教(1)、愛知学院(2)、立命館(1)、日本福祉(1)、城西国際(1)
〈短期大学/10名〉 富山短期(3)、富山福祉短期(3)、金城大学短期(1)、金沢星稜大学女子短期(1)、名古屋短期(1)、金沢学院大学短期(1)
〈専門学校/48名〉 富山県高岡看護(3)、富山歯科総合学院(3)、富山外国語(2)、富山県技術(4)、富山情報ビジネス(2)、富山理容美容(1)、富山大原学園(2)、金沢ウエディングビューティ(1)、富山調理製菓(2)、富山リハビリテーション医療福祉(3)、大原簿記法律観光金沢校(1)、北陸職業開発能力大学校(4)、高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所(2)、国際ペット金沢校(3)、専門学校金沢美専(2)、国際ホテル&ブライダル(1)、金沢リハビリテーション(1)、大阪文化服装学院(1)、資生堂美容技術(1)、理学・作業名古屋(1)、国際トラベル・ホテル・ブライダル(1)、大阪観光(1)、富山病院附属看護(3)、富山市立看護(1)、富山医療福祉(1)、富山ビューティーカレッジ(1)他
〈就職/18名〉
アイシン軽金属・三協立山・旭東機械製作所・クマキ・うみあかり・日本高周波鋼業・リンツ&シュブルングリージャパン・オプテス・高岡市農業協同組合・プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン・磐城産業株式会社・サンテック・小松製作所氷見工場・サラ・ジャパン・日本郵便

あとがき
三年生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。高校生活は走馬灯のように駆け巡った三年間だったと思えます。
Your Only Live
Once 人生は一度きり
伏木高校の国際交流科という他校では味わう事の無い貴重な体験を忘れずこれからも活躍されることを期待しております。
(総務委員会 同)

行事予定

- 3/15(日) 22(日) ロシア語字研修
24(火) 三学期終業式
4/8(水) 始業式・入学式
14(火)~15(水) オリエンテーション合宿
5/9(土) 教育懇談会 (一年)
6/11(木) 体育大会

方の協力を得て、友好国の生徒や教職員に向けて歓迎パーティーをオモテナシの気持ちで込めて行いました。
今後ともPTA・学校関係者皆様の御協力を得て継続していく事が大切であると思えます。
最後に活動に参加いただきました方々、そしてホームステイの受け入れに協力して頂きました保護者の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。
今後とも皆様の御協力をお願い致します。